

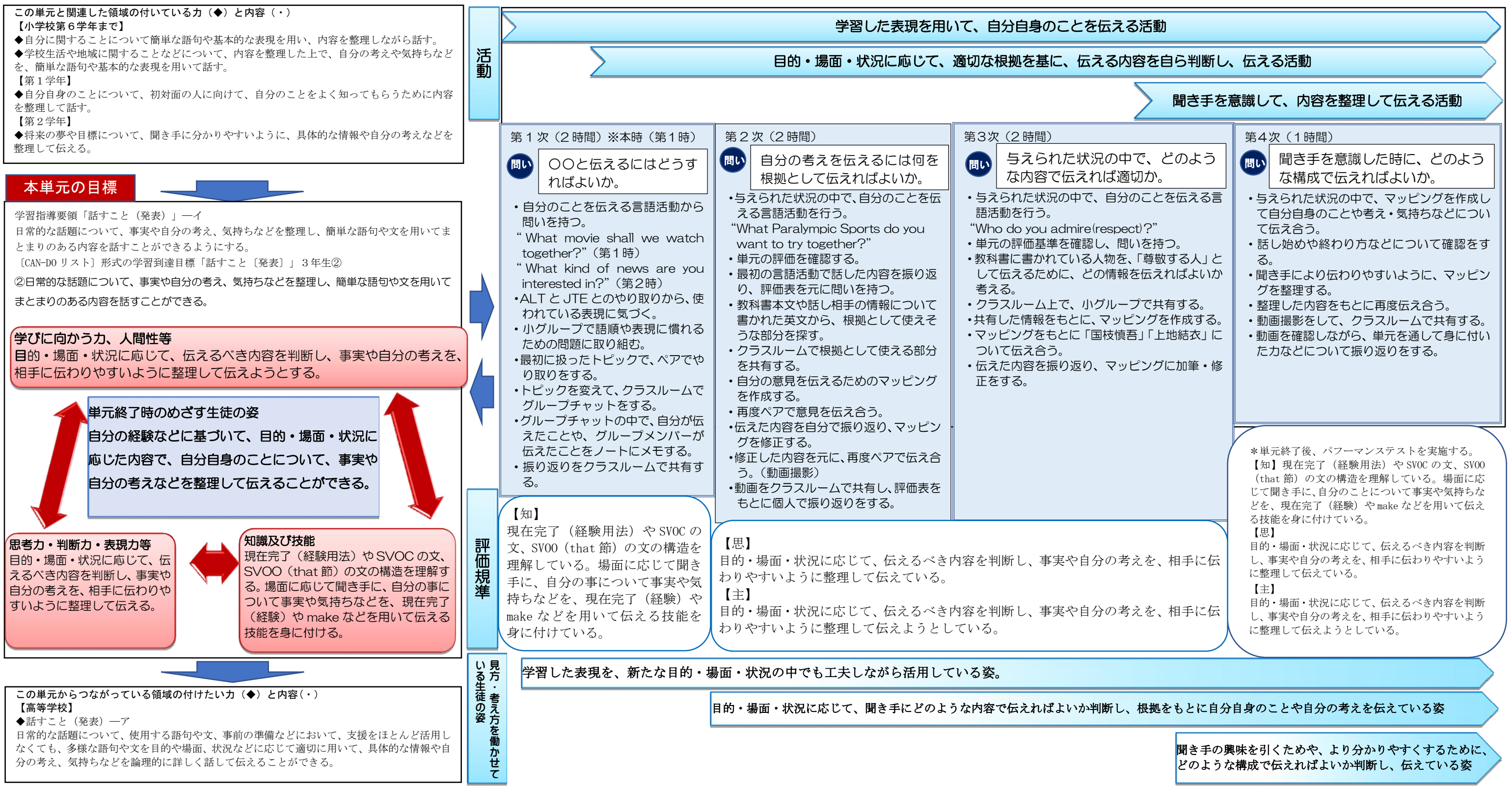
単元を貫く問い

*目的に応じて、どのように自分のことを伝えればよいか。

／

単元ゴール

『進路を意識して、自分のことを語ろう』



【本時の目標】自分の経験について、現在完了（経験）を含む英文を用いて、適切に伝えることができる。

【本時における見方・考え方】学習した表現を新たな目的・場面・状況の中で、自分自身の経験について伝えるために活用する。

April 17th, Wednesday

問題
「見たことがある」どう伝えればよい？

めあて
自分の経験について伝え合おう。

「見たことある」
have seen(=see の過去分詞形)

「見たことない」
have seen never

have と過去分詞の間？

生徒から出た表現を板書する。

「経験」について伝えるには？
主語 + have + 動詞の過去分詞形 「～したことがある」
*before (以前に)、once (一度)、twice (２度)
○○ times (○○回)
→「～したことがない」と伝えるには… have と過去分詞の間に never を入れる。

*生徒がロイロノートでまとめた内容を元にまとめる。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
（「問題」・「めあて」の工夫、まとめ、発問、活動など）
学習した表現を適切に用いながら、設定された場面において思考力・判断力・表現力を働かせて言語活動を行えるようにするために、単元の始めに、身近な目的・場面・状況における言語活動の中で、進出の表現の使い方について学ぶとともに、ドリル活動なども適切に設定し、正確な運用につなげる。また、文構造をまとめる際には、生徒を主体として、ロイロノートを用いてまとめさせ、そのノートを共有する中で、新たな気づきを得られるようにしたい。ペアで話すだけでなく、グループなどで、クラスルーム上でチャットをするなど、言語活動の形態にも広がりを持たせる。また、そうしたチャット機能の活用により、スローラーナーが他の生徒の発言（チャット）から学ぶ機会を得られるようにしたい。
表現を学習した後には、別の目的・場面・状況を設定し、特定の場面で学習した表現を、別の場面でも活用しすることで、意味的な理解をともなった表現の定着を図る。



1. Small Talk：“What kind of movies do you like?” “What is your favorite movie?” JTE：S1, What kind of movies do you like? ALT：I like action movies. JTE：What is your favorite action movie? ALT：I like “Fast and Furious.” JTE：Me, too. JTE：Let’s talk in pairs like this. 生徒同士でやり取りをする。 2. 目的・場面・状況を共有する。 JTE：You are at GEO with your friend. You two will watch a movie together. So, you choose a movie to rent. There are 4 pictures, and you have to talk in pairs according to these pictures.（会話の場面を示す４つのイラストを確認する） Please start the conversation with “What movie shall we watch?” S1：What movie shall we watch? S2：Let’s watch Totoro. S1：No. I …. S2：I see. S1：How about ONE PIECE? S2：No. I watched ONE PIECE before. S1：Let’s watch Spiderman. S2：Yes, let’s. 3. 言語活動の中で感じた問いを共有する。 T：今のやり取りの中で困ったことや問いをクラスルームの掲示板に 入力してみましょう。（５分ほどで問いを入力する） T：どんなことに問いを持っている人が多いですか？ S1：「見たことがある」をどうやって伝えればよいか。	問題 「見たことがある」はどう伝えればよい？ 4. 問いから本時のめあてを設定する。。 T：つまり今日はどんなことを伝えられるようになればいい？ S3：経験に伝えられるようになればいい。 めあて：自分の経験について伝え合おう。 5. 本時の学習の流れを確認する。 （１）JTEとALTの会話を、その内容に注意して聞く。 （２）JTEとALTの会話を、使われている表現に注意して聞く。 （３）聞き取った内容をもとに、表現の練習をする。 （４）練習した内容をもとにして、「経験」の表現について構造的にまとめる。 （５）最初の場面に戻って、ペアで再度やり取りし、動画を撮影する。 *ロイロノートで必要な資料を配布する。 ◎（１）、（２）を進行中の生徒とのやり取り T：What movie will we watch together? S：Totoro. T：That’s right. We will watch it together. Now, please listen to the conversation again. This time, please find how to say “見たことある” and “見たことない” in English.（表現に注目して聞く） T：How can you say “見たことある” and “見たことない” in English? S：I have …. T：そうですね。haveを使った表現が聞こえたと思います。他には？	S：seen …？ T：seen って何？ S：see の過去分詞形。 T：じゃあ have と see の過去分詞形を使ったら、「見たことある」にできそうですね。「見たことない」は何か聞こえた言葉はありましたか？ ◎（３）を進行中の生徒とのやり取り S：been って何ですか？ T：I have been to Hokkaido once. What does it mean? S：北海道に行ったことある？ T：That’s right. So, “have been to” means 「行ったことがある」。been は be 動詞(am,are,is)の過去分詞形です。 ◎（５）を進行中の生徒とのやり取り T：You said “I have see the movie before”, right? Please use “seen”. You can say, “I have seen ---” S：I have seen the movie before. *言語面での指導を行う。	6. 話題を変えてグループでチャットをする。 Now, let’s talk in groups on the classroom. You need to decide where to go on a trip together. Please start the chat from “Where shall we go on a trip?” グループのチャットの中で、今日学習した「経験」を伝えるための表現を使えないか工夫しながらチャットしてみてください。（クラスルームのチャットを用いて、グループで会話する） 7.本時のまとめをする。 T：グループチャットの中で使えた、自分や班員が書いた、自分の経験を伝えるための英文や、伝えられなかったけど伝えられそうだった英文をノートにメモしましょう。 まとめ〔経験について伝える文〕 I have been to Kyoto before. I have eaten yatsushashi many times. I have never seen Kinkakuji. 8. 本時の振り返りをする。 T：自分が行ったことがある場所や、見たことあるもの、食べたことがあるものについて、１文以上クラスルームで共有しましょう。
<指導上の留意点> 問いを全体から引き出すために、ロイロノートで全員の問いを共有する。	<指導上の留意点> 内容や表現を聞き取れるように、音源を全員に配布して、何度も聞き直してよいことを伝える。	<指導上の留意点> 発話の中で見られたミスなどは全体で共有し、正確に英語を使用できるように指導する。	<指導上の留意点> 全員がノートにまとめとして「経験」を伝える英文を書けるように、班員が出した意見も書いてよいことを伝える。
評価規準			【知】 現在完了（経験用法）の文の構造を理解している。場面に応じて聞き手に、自分の経験について現在完了（経験）を用いて伝える技能を身に付けている。